

地域イノベーション研究会中間とりまとめ(案)ポイント

～ (仮称)地域発イノベーション加速プラン ～

資料1 - 2

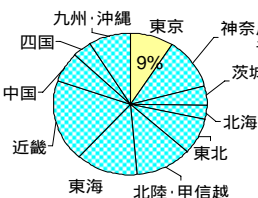
地域経済産業G
地域技術課

ポイント

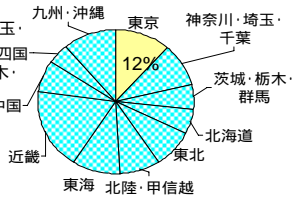
【連携】産学官連携ネットワークの一層の充実、【オープン】既存組織の垣根を越えた**研究開発資源**(研究試験設備、人材等)の**利用促進・オープン化**、【集中】もてる**潜在力最大活用と結集**により、地域発イノベーションを加速し、地域経済を活性化

【地域の大きな潜在力】

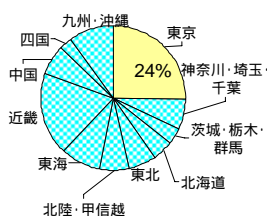
元気なモノ作り中小企業
(600社)



大学・公設試
(約1,600機関)

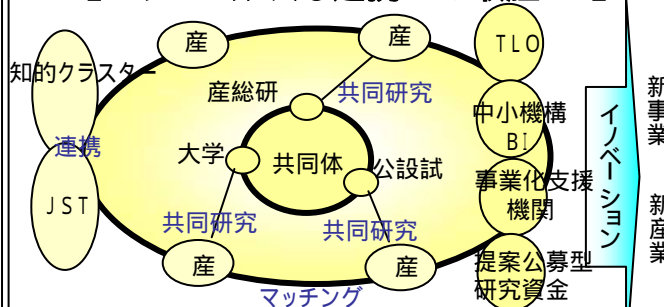


大学・公設試主要研究者
(約143,000人)



出典:元気なモノ作り中小企業300社2006年版・2007年版(経済産業省)等

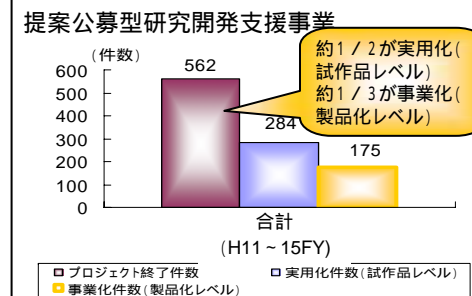
【シーズ創出から事業化までのシームレスな連携への取組】



<産業クラスター計画:18プロジェクト>

- ・参加企業:約10,700社
- ・参加機関:大学等約290、公設試96、産業支援機関404、BI施設79、TLO22、研究機関54、商工会議所等168

【産学連携技術開発への支援】



- ・公募件数:約6,700件(競争率 約6.1倍)
- ・実施件数:約1,100件(総額約1,030億円)
- ・参加した企業:約3,400社(うち中小企業75%)
- ・参加した大学:約1,600大学

地域の課題

地域には、優れた技術を持った企業、知の拠点である大学、人材などの資源が存在するが、その潜在力を活かさない

- 【産学官の連携不足】
- ・大手企業の積極的な参画が少ない
 - ・広域連携の不足
 - ・事業化支援機能が脆弱

- 【既存組織・行政区域の垣根】
- ・研究開発資源の活用は、既存組織・行政区域内にとどまるところが多い

- 【インフラ・人材の劣化と不足】
- ・イノベーションを担う産業支援人材等が不足
 - ・大学等の知見を産業に活用するための拠点の不足
 - ・中小企業支援を担う公設試の脆弱化

基本的方向

- 【連携】産学官連携ネットワークの**一層の充実**
 - 【オープン】研究開発資源の**利用開放**
 - 【集中】**潜在力を結集・最大活用**
- 地域クラスターの更なる推進と成長
- 大学等の**ポテンシャル(知財含む)**を活かした地域活性化の推進
- 地域の**研究開発資源のオープン化**の推進
- イノベーションを担う**産業支援人材の発掘・育成・交流**
- 地域の主体性ある「**地域の構想**」の**共有**と関係府省の支援

具体的施策(例)

- 地域クラスター施策の更なる推進と成長**
- ・強力な事業化支援(大手と中小の常設商談支援モデル構築)
 - ・クラスター間連携など産業クラスター計画の広域的・国際的展開
 - ・地域クラスターのより一層の連携強化によるシーズ創出から事業化に至るシームレスな支援
- 大学等のポテンシャル(知財含む)を活かした地域活性化の推進**
- ・大学を中心とした産学連携集積拠点形成
 - ・地域中小企業の課題・ニーズに対応する公設試の機能向上
- 地域の研究開発資源のオープン化の推進**
- ・研究開発資源の結集・共有化
 - ・委託費で購入した設備の大学・公設試等への集約・オープン化
- 地域イノベーションを担う産業支援人材の発掘・育成・交流**
- ・コーディネータ人材の全国ネットワーク化と実践的研修の実施による人材の「質」の抜本的向上
 - ・ポスドク人材等の大学から企業への中長期派遣の推進 等
- 実効ある「選択と集中」、「競争と協創」を実現する制度改革等**
- ・「スーパー・テクノイノベーション特区(仮称)」プロジェクトの検討 等